

看護師を目指す！！  
高校生・中学生・社会人通信

# ふくすけ

発行・お問い合わせ・返送先  
医療法人財団健和会 看護学生室  
〒341-8555  
埼玉県三郷市鷹野 4-494-1  
みさと健和病院内  
TEL 048-955-9548  
FAX 048-955-9549  
E-mail [k-gakusei@kenwa.or.jp](mailto:k-gakusei@kenwa.or.jp)

2016年  
4月号

進級おめでとうございます。健和会高校生通信「ふくすけ」は、健和会の1日看護体験やボランティアに参加された方、HPでお問い合わせいただいた方に看護師の仕事や病院の様子を知っていただきたいと思い送っています。2016年度も看護体験・ボランティア・模擬面接のお知らせをたくさん掲載していきます。みなさんのご参加お待ちしております♪

## 看護の日 1日看護体験

日時 2016年5月14日(土)

10:00~15:30

会場：みさと健和病院

内容：看護師の仕事・足浴体験・院内見学

会費：500円 〆切：4月27日(水)

参加お申し込み・お問い合わせは看護学生室 048-955-9548 (直通) まで!!

受付 月~土(祝日除く)9:00~17:25

…ここで、“ちょっと知ってて” コラム。

～ナイチンゲールと看護週間について～

近代的な意味での『看護師』という職業が生まれたのは、ナイチンゲールの活動がきっかけだと言われています。ナイチンゲールが生まれた日が1820年5月12日。そのため、5月12日を「国際看護師の日」と定めています。日本では、1990年に「看護の日」を制定しました。看護の心を広く伝える看護週間は5月8日～14日です。

ナイチンゲールは戦場の病院で傷ついた兵士を看護したとして知られています。実際には、看護とは何か？を考え、発信し、病人にとって必要な環境や病院の管理など幅広く研究し提言を残しています。病院建築についても病人にとって必要な環境について考察を深め、現在も看護教育の場で読み継がれる「看護覚え書」という本に彼女の提言がまとめられています。

このコラムでは看護師を目指す皆さんに“ちょっと知ってて” 頂きたい情報を発信していきます。

# 募集中!

## 毎月第3土曜日

### 緩和ケア・病棟ボランティアやっています♪

みさと健和病院7階の緩和ケアにぜひお越し下さい!!

緩和ケア病棟では毎日、ボランティアさんが大活躍! 屋上庭園の花や芝生の手入れ、季節を感じさせる環境整備の実施、また患者さん、ご家族の方にお茶のサービスも行っています。病棟の様子を知ることできますよ。希望の方はご連絡下さい♪ 毎月第3土曜日は定例で受け入れをしています!

#### ～緩和ケア病棟ってどんなところ?～

終末期の患者さんの様々な苦痛が少しでも緩和されるように支援する病棟です。(吐き気、食欲不振、不眠、息苦しさ、心の辛さ、ガンの痛みなど。)

辛い症状が緩和され、ご自宅に退院される場合は安心して在宅療養できるよう調整し、ご家族へのケアもできる限り行なっています。一般病棟とは異なり、なるべくご自宅にいるような雰囲気を感じています。

#### 緩和ケア病棟の様子



### “看護体験 Q&A” (春の看護体験より)

Q これから看護師になるにあたって、必要な力とは?

→A. 感性豊かな力。 その患者さんにとって、自分は何ができるか考えられる看護師。

Q. 看護師の辛さとは?

→A. 夜勤等あるため体力勝負なところ。

Q. 患者さんの心のケアの仕方について

→A. 話をできる時間をしっかりとって、その方の想いをしっかりと聞く。

Q. 学生の時に授業で楽しかったことは?

→A. 小児科で初めて入院する子をスムーズに検査に行かせるために寸劇をしたこと。

Q. これからの日本に必要な看護や理想の看護師像、  
もとめられる人材について。

わたしたちがお答えします!

→A. しっかり安全に治療を受けられ、精神面のケアもしっかりできる看護師  
困った時に頼れる看護師。



いつも高校生通信「ふくすけ」をご愛読いただきありがとうございます。

ホームページはスマホから!! 『みりよくなないろ』で検索!

みりよくなないろ  
健和会